



# 佐野中通信

ひたちなか市立佐野中学校  
令和6年度学校だより  
No.9 12月号  
令和6年11月30日(金)

燦々照今 よりよき今をともに創らん

## 祝 ひたちなか市誕生 30 周年!!

ここ一週間くらいでしょうか、朝方はほんのりと冷え込む日も出てきました。もう12月ですが、日中はかなり暖かく、日本の冬はどこに行ってしまったのだろうかという気がします。

さて、11月は芸術の秋ということで4日には「碧和祭-合唱コンクール・ステージ発表」、22日には「ひたちなか市誕生30周年記念市立学校記念事業」を開催しました。

まずは碧和祭です。今回が初めての経験となった1年生でしたが、緊張感に包まれながらも、先陣を切って堂々と歌い切り、実に素晴らしい歌声で幕を開けました。2年生は一回り成長した姿を存分に見せ、そして3年生は学校行事として最後のクラスマッチとなる大きな舞台上、最高学年にふさわしい素敵なハーモニーを響かせました。審査員の先生方からも合唱、指揮、伴奏ともにレベルが高いとお褒めの言葉をいただきました。佐野中生のみなさん、自信をもってください。さらに成長した姿を来年度の舞台上で披露してほしいと思っています。

また、ステージ発表で好きなことに打ち込む姿は、その表情が嬉々として見ている側も自然と楽しい気持ちになりました。また、最後の男子生徒二人によるピアノの連弾は圧巻のものがありません。中学生も指導次第であそこまで達する姿を目のあたりにして、中学生の秘めたる才能の高さに驚いた碧和祭となりました。



大洗高校 *Blue-Hawks* の演奏による全校合唱



アカペラによる合唱

続いてひたちなか市誕生30周年記念事業です。ひたちなか市が発足して丸30年の令和6年に、このことを祝って、何か記念行事をやるようにと市よりお話をいただきました。何かを実施するにあたって大切にしたいことは、できるだけ印象に残る体験的な活動を実施することです。そこで本校では、「…時に歌を口ずさむ学校」を目指していますので、合唱をやると思い立ちました。先の碧和祭では「きょうそう」しましたが、今回は学年合唱と全校合唱です。みんなで息をそろえて心を合わせての共創・協奏です。さらに、より強烈に記憶に残るようにと、マーチングバンド界で全国のトップをひた走る大洗高校の *Blue-Hawks* をお招きしました。

その感想は「凄まじい」の1語につきまします。いや、ひとことでは表現しきれないのが本当のところですが、「統一感」に包まれていたというのが相応しいのかもしれませんが、本校に到着し、バスを降りて体育館に向かうまでの姿勢からピシッとしている。現場に立って本番に臨む前の準備の段階から緊張感をもってその場に対峙している。自分の演奏の番ではない時も身体に芯が通っていて場の空気を整然としたものとしている。楽器の色はブラチナー色に染め上げられ、また管楽器の奏者はすべて白い手袋を身にまとっている…、などですが、まだまだ文字としては綴りきれません。さらに *Blue-Hawks* は85名と本校の生徒数の約8分の1の人数ですが、返事一つをとっても桁が違う。身体の隅々にまで気がみなぎっていて、とにかく佐野中の誰しもが圧倒されました。いかに気持ちを込めて一つひとつの所作に気を配って普段から日常生活を送り、そして練習に時間を捧げているのか、その様がまざまざと目に浮かんできました。立派すぎる高校生という言い方ではおこがましく、まさにプロを超えると思える真の楽団でした。

ちなみに、今シーズンの出演依頼演奏の最後を飾るのが佐野中だということでした。高校3年生は卒業に向けて間もなく引退とのこと。そういう意味では、高校に入学後練習を積み重ねて、この日、この時、この場が一番の状態だとのことでした。そんな機会に恵まれて、本当にありがたいことです。この場に居合わせる事ができただけでも幸せ、果てしなく教育効果の高い体験となり、佐野中生一人ひとりの人生にとってかけがえのない大きな財産となったことでしょう。

それから、本校の卒業生1名が高校2年生に在籍し、その独奏を聴くことができたことも本校生徒にとって限りなく貴重な機会となりました。この日の体験は、*World Wide* ならぬ「ひたちなかワイド」なものとなりました。保護者の皆様をお招きできず申し訳なく思っています。

大洗高校 *Blue-Hawks* のみなさん、あらためまして感謝申し上げます。みなさんのさらなる発展を祈念します。ありがとうございました。



# 智仁武勇



## 生活の柱：時空人の「間」を照らす - 時「間」・空「間」・人「間」

Key Word：時と空 人の間を 燦々と 照らし続けて 輝かす今



11/21 日(木)の5時間目に、市内の包括支援センターの方を招いて、認知症サポーター養成講座を開催しました。1年生を対象に、認知症についての知識と対応についての講話と寸劇が行われました。

生徒たちはとても関心がある様子でした。事後の感想文では、「私の家に実際に認知症になってしまった祖父がいるので、とても参考になりました。」と書かれたものもありました。



11/15(金)、中学2年生を対象に県立高等学校の学科説明会を実施しました。将来を見据えた高校選びや、職業について考えるきっかけとなる内容で、生徒たちは真剣な表情で話を聞いていました。進路について早い段階から準備を始めることの大切さを学び、自分の将来像を描く第一歩となったことでしょう。御家庭でも、ぜひお子様と一緒に将来について話し合う時間をもって頂ければと思います。



3年7組です。この写真は朝の教室の様子です。教室に到着し次第、自発的に学習に取り組んでいます。合唱コンクール終了後からは、担任が教室に到着した時には、この光景が広がるようになりました。初めは少ない人数だったのが、徐々に多くなってきました。それぞれ受験校が決まり始め、さらに学習に身が入っており、担任としてとても頼もしく感じています。

7組は合唱コンクールを通して団結力が高まり、それが学校生活に生かされています。高校入試が近づいてきて大変な時期に差し掛かりますが、お互いに支え合い、励まし合いながら乗り越えていってほしいです。

大洗高校のマーチングバンドを見て、思わず泣いてしまうほど感銘を受けました。「カラスなぜ泣くの」のところなどで、周りにも感動して泣いている子がいるほど素晴らしい演奏でした。僕がもし大洗高校に入学した際は、マーチングバンドに入りたいと思います。そう思えるほど、本当に素晴らしい演奏と、とても新鮮な経験でした。大洗高校の佐野中学校に来校してくれた方々には、感謝してもしきれません。本当に感謝を伝えたいです。

佐野中生の感想から ~ Blue-Hawks の演奏を体感して ~

《抜粋して紹介》

### 【1年生】

- ◇プロよりも凄まじかった
- ◇今まで音楽にはあまり触れてこなかったけど、家などで聞いてみようと思いました。
- ◇歌が上手で、ぜひ来年も来て欲しい。
- ◇マーチングを佐野中の体育館で聴けることが奇跡だなと思いました。
- ◇音楽の楽しさと凄さを改めて感じる事ができました。

### 【2年生】

- ◇動きだけではなく、挨拶の声も揃っていて、普段から心がけていることがにじみ出ていてかっこよかったです。
- ◇聴いていて鳥肌が立った。
- ◇楽しそうな顔は、私たちも楽しい気持ちにさせてくれました。
- ◇太鼓の だだだだだ の音が私は好きで自分も叩いてみたいと思いました。
- ◇私は吹奏楽部に興味ありませんでしたが今回の時間で興味が出てきました。
- ◇とりあえず自分自身高校まだ迷っていて、大洗高校も候補に入れようかなと思いました。
- ◇歌の合唱も生であんなにきれいなハーモニーを聴いたことがなかったので、耳と心が癒されました。
- ◇高校に行ったら、部活に入らなくていいかなと思っていましたが、皆さんのかっこいい演奏を聞いて、興味をもちました。
- ◇音楽はこんなにも視覚的に楽しめるものなのだととても驚きました。
- ◇どれだけの練習を重ねてきたのだろうか。
- ◇大洗高校さんのマーチングバンドをもっと多くの人に聞いてほしいと思いました。

### 【3年生】

- ◇楽器を持ちながら、50分も集中して演奏し続けられることがすごいと感じました。
- ◇こんなにいつまでもパフォーマンスを見ていたいと思ったのは、今日が初めてです。
- ◇受験で勉強ばかりの生活を送っているこの時期に演奏を聞いて心が浄化されました。